学校番号	323

令和８年度　教育科

教科	教育	科目	（学）教育数学発展	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書							
副教材等	キートレーニング数学演習Ⅰ・II・A・B・C〔ベクトル〕受験編						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、「教育数学基礎」で培った数学的な能力を伸ばし、様々な課題解決につなげる力を身につけることを目標にしています。「教授する技能、会話力」等を授業内に取り込むことで、これらの技能の向上をめざしています。この授業をきっかけに、伝える力や対話する力を高め、それらを通じて数学的な考察を深めてください。

2　学習の到達目標

①数と式を始め、数学Ⅰ、A の基本的な内容の確実な定着を図る。
②「上記の内容について理解し、様々な事象について応用することができる。また模擬授業形式の発表において、板書など、発表の計画を作成できる。
③数と式を始め、様々な事象について、数学的に解決しようと粘り強く取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式を始め、数学Ⅰ、A の基本的な内容の確実な定着を図る。	上記の内容について理解し、様々な事象について応用することができる。 模擬授業形式の発表において、板書など、発表の計画を作成できること。 事前に作成した発表の段取りに基づいて、適切に発表できること。	数と式を始め、様々な事象について、数学的に解決しようと粘り強く取り組むこと。 板書案や発表計画の作成・改良に粘り強く取り組むこと。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数学Ⅰ分野	1．数と式 2．２次関数 3. 図形と計量	a：「数と式」「２次関数」「図形と計量」の性質を知る。また、それらについての基本的な事項について理解し、公式等を適切に使えるようになる。 b：「数と式」「２次関数」「図形と計量」の性質を理解したうえで、隣接する項の関係などを考察することができる。また、自らの言葉でそれらのことを表現することができる。 c：日常生活において、「数と式」「２次関数」「図形と計量」がどのように生かされているかを興味を持って調べ、さらに理解を深めようとする。	提出物 考査 小テスト	提出物 考査 レポート	提出物 課題
2	数学Ⅰ分野、数学Ａ分野	4. データの分析 5．場合の数と確率 6．図形の性質	a:「データの分析」「場合の数」「確率」「図形の性質」「整数の性質」についての基本的な性質を知る。また、それらについての基本的な事項について理解し、公式等を適切に使えるようになる。 b：「データの分析」「場合の数」「確率」「図形の性質」「整数の性質」についての基本的な公式等を用いて適切に解決できるようになる。 c：「データの分析」「場合の数」「確率」「図形の性質」「整数の性質」についての、身の回りにある現象について興味を持ち、数学的に捉え、問題解決を図ろうとする	提出物 考査 小テスト	提出物 考査 レポート	提出物 課題

3		7．整数の性質	a:「整数の性質」についての基本的な性質を知る。また、それらについての基本的な事項について理解し、公式等を適切に使えるようになる。 b：「整数の性質」についての基本的な公式等を用いて適切に解決できるようになる。 c：「整数の性質」についての、身の回りにある現象について興味を持ち、数学的に捉え、問題解決を図ろうとする	提出物 小テスト	提出物 小テスト	提出物 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度